

# 三菱電機数値制御装置におけるサービス拒否(DoS)の脆弱性

公開日 2024年10月17日

最終更新日 2025年12月18日

三菱電機株式会社

## ■概要

三菱電機数値制御装置(CNC)にサービス拒否(DoS)の脆弱性が存在することが判明しました。攻撃者は、不正なパケットをTCP 683番ポートへ送信することにより、該当製品をサービス停止(DoS)状態に陥らせることができる可能性があります。(CVE-2024-7316)

この脆弱性の影響を受ける製品形名およびバージョンを以下に示します。

## ■CVSSスコア<sup>1</sup>

CVE-2024-7316 CVSS:3.1/AV:N/AC:H/PR:N/UI:N/S:U/C:N/I:N/A:H 基本値:5.9

## ■該当製品の確認方法

影響を受ける製品、システム番号及びバージョンは、以下のとおりです。

シリーズ名	製品名	システム番号 (**はバージョンを示す)	バージョン
M800V/M80V シリーズ	M800VW	BND-2051W000-**	B1版以前
	M800VS	BND-2052W000-**	
	M80V	BND-2053W000-**	
	M80VW	BND-2054W000-**	
M800/M80/E80 シリーズ	M800W	BND-2005W000-**	FH版以前
	M800S	BND-2006W000-**	
	M80	BND-2007W000-**	
	M80W	BND-2008W000-**	
	E80	BND-2009W000-**	
C80 シリーズ	C80	BND-2036W000-**	BJ版以前
M700V/M70V/E70 シリーズ	M750VW	BND-1015W002-**	LG版以前
	M730VW/M720VW	BND-1015W000-**	
	M750VS	BND-1012W002-**	
	M730VS/M720VS	BND-1012W000-**	
	M70V	BND-1018W000-**	
	E70	BND-1022W000-**	
ソフトウェアツール	NC Trainer2	BND-1802W000-**	すべてのバージョン
	NC Trainer2 plus	BND-1803W000-**	

M800V/M80V シリーズ、M800/M80/E80 シリーズ及び C80、M700V/M70V/E70 シリーズの場合には、以下の手順でシステム番号を表示し、確認します。

- ① 表示ユニットにて「診断」画面を表示し、「構成」メニューを選択すると、ソフトウェア構成画面が表示されます。
- ② ソフトウェア構成画面で、NCMAIN1 に表示されるシステム番号を確認します。

NC Trainer2 及び NC Trainer2 plus の場合には、以下の手順でシステム番号を表示し、確認します。

- ① プログラムを起動します。
- ② メニューバーの「ヘルプ」-「バージョン情報」をクリックしてバージョン情報画面を表示し、BND で始まるシステム番号を確認します。

詳しくは、各製品の取扱説明書(下表)を参照ください。

シリーズ名	説明書名	参照先
M800V/M80V シリーズ	M800V/M80V シリーズ 取扱説明書	<a href="https://www.mitsubishi-electric.co.jp/fa/download/index.html">https://www.mitsubishi-electric.co.jp /fa/download/index.html</a>
M800/M80/E80 シリーズ	M800/M80/E80 シリーズ 取扱説明書	
M700V/M70V/E70 シリーズ	M700V/M70V/E70 シリーズ取扱説明書	
C80 シリーズ	C80 シリーズ 取扱説明書	
ソフトウェアツール	NC Trainer2/NC Trainer2 plus 取扱説明書	

<sup>1</sup> <https://www.ipa.go.jp/security/vuln/CVSSv3.html>

## ■脆弱性の説明

当該製品には、入力で指定された数量の不適切な検証(CWE-1284)<sup>2</sup>によるサービス拒否(DoS)の脆弱性が存在します。

## ■脆弱性がもたらす脅威

TCP 683 番ポートで攻撃者からの細工された不正なパケットを受信すると、当該製品がサービス停止(DoS)状態に陥り、システムが非常停止する可能性があります。なお、復旧にはシステムのリセットが必要になります。

## ■お客様での対応

次項「■製品での対応」に掲載の表を参照して、お使いの製品の対策版が提供されているかをご確認ください。

〈対策版が提供されている製品をお使いのお客様〉

対策済みバージョンを適用ください。適用方法については、最寄りの三菱電機窓口までご相談ください。

〈対策版が提供されていない製品をお使いのお客様〉

軽減策・回避策にて対応をお願いいたします。

## ■製品での対応

対策済のシリーズ名、製品名、システム番号及びバージョンは以下のとおりです。

シリーズ名	製品名	システム番号 (**はバージョンを示す)	バージョン
M800V/M80V シリーズ	M800VW	BND-2051W000-**	B2 版以降
	M800VS	BND-2052W000-**	
	M80V	BND-2053W000-**	
	M80VW	BND-2054W000-**	
M800/M80/E80 シリーズ	M800W	BND-2005W000-**	FJ 版以降
	M800S	BND-2006W000-**	
	M80	BND-2007W000-**	
	M80W	BND-2008W000-**	
	E80	BND-2009W000-**	
C80 シリーズ	C80	BND-2036W000-**	BK 版以降
M700V/M70V/E70 シリーズ	M750VW	BND-1015W002-**	LH 版以降
	M730VW/M720VW	BND-1015W000-**	
	M750VS	BND-1012W002-**	
	M730VS/M720VS	BND-1012W000-**	
	M70V	BND-1018W000-**	
	E70	BND-1022W000-**	

## ■軽減策・回避策

本脆弱性が悪用されることによるリスクを最小限に抑えるため、三菱電機は以下に示す軽減策を講じることを推奨します。

- 当該製品をインターネットに接続する場合には、ファイアウォールや仮想プライベートネットワーク(VPN)等を使用し、不正アクセスを防止してください。
- 当該製品へアクセス可能なパソコンにウイルス対策ソフトを搭載してください。
- 当該製品を LAN 内で使用し、信頼できないネットワークやホストからのアクセスをファイアウォールでブロックしてください。
- 当該製品および当該製品が接続された LAN への物理的なアクセスを制限してください。
- IP アドレスフィルタ機能<sup>\*1</sup>を使用し、信頼できないホストからのアクセスをブロックしてください。

\*1:IP アドレスフィルタ機能は、M800V/M80V シリーズと M800/M80/E80 シリーズで対応しています。

IP アドレスフィルタ機能の詳細は、M800V/M80V シリーズ取扱説明書「16. 付録 3 IP アドレスフィルタ機能」、M800/M80/E80 シリーズ取扱説明書「15. 付録 2 IP アドレスフィルタ機能」を参照ください。

## ■お客様からのお問い合わせ先

製品をご購入いただいた当社の支社、代理店にご相談ください。

〈お問い合わせ | 三菱電機FA〉

<https://www.mitsubishielectric.co.jp/fa/support/purchase/index.html>

## ■更新履歴

2025 年 12 月 18 日

対策済みの製品を記載しました。

<sup>2</sup> <https://cwe.mitre.org/data/definitions/1284.html>

C80 シリーズ

2025 年 3 月 18 日

対策済みの製品を記載しました。

M700V/M70V/E70 シリーズ

2025 年 2 月 20 日

「製品での対応」を追加し、対策済みの製品を記載しました。

M800V/M80V シリーズ、M800/M80/E80 シリーズ